

# 地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

●：受講必須      ■：基礎的な内容  
◇：受講任意      ■：応用的な内容も含む

オンデマンド講義 視聴時間約2時間 ※受講必須のみの場合

概 要		単 元 名		視聴時間
<b>災害対応業務全般</b> 防災の基本的な知識として、災害対応の全体像、災害関連法の体系や概要、防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画等の概要を学ぶ	1	防災行政概要	◇	20分
	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	◇	15分
	3	災害救助法の概要	◇	15分
	4	防災計画の概要	◇	15分
<b>避難所開設・運営</b> 避難所の設置・運営の基本や、災害ボランティア等との連携、男女共同参画の視点、平時の備えや多様なニーズ対応等を学ぶ。	5	避難所の開設・運営の内容	●	15分
	6	多様な主体による避難所運営	●	15分
	7	災害時における男女共同参画の視点からの取組の概要	●	15分
	8	避難所のライフサイクル	●	60分
	9	避難所運営の実際	●	60分
	10	要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援	◇	90分

リアルタイム研修

時間	単 元	時間	講 師	単元の概要
10:00 ～10:10	- (オリエンテーション)	10分	(事務局)	
10:10 ～10:40	1 【講演】山梨県特有の災害の課題(仮)	30分	甲府地方気象台	地元気象台の立場から山梨県の地域特性による災害の特徴、気を付けるべき課題等を学ぶ。
10:40 ～11:10	2 【事例】過去の災害対応における避難所運営の実際	30分	派遣講師	過去災害の避難所の実際を知り、課題を学び、今後の避難所運営に役立てる。
11:10 ～11:20	- (休憩)	10分		
11:20 ～11:40	3 【講義】避難所運営業務と避難所設営	20分	派遣講師	内閣府のガイドラインを元に避難所設営業務を確認し、実際の避難所設営にどう役立てるかのヒントを得る。
11:40 ～12:00	4 【見学】避難所想定施設の事前確認	20分	派遣講師	本日演習で活用する施設の事前確認を行いながら、初見の施設でも円滑な避難所設営が可能となる能力を身に着ける。
12:00 ～13:00	- (昼休み)	60分		
13:00 ～14:20	5 【演習】避難所開設演習(レイアウトの設定)	80分	派遣講師	想定される避難者の状況に応じた避難所のレイアウトを考える。チェックリストを元に具体的な運営方法を想定する。
14:20 ～14:30	- (休憩)	10分		
14:30 ～15:30	6 【演習】避難所受入れ演習(被災者対応)	60分	派遣講師	模擬的に避難者受入れを行いながら、個々の状態や状況に応じてどのような対応が必要かを検討する。避難所運営時のポイントや留意点を学ぶ。
15:30 ～15:35	- (休憩)	5分		
15:35 ～16:20	7 【演習】全体討論(ふりかえり)	45分	事務局	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。
16:20 ～16:30	- (閉講)	10分	(事務局)	

コーディネーター  
【プロフィール】 新潟大学 危機管理本部 危機管理センター 教授  
**田村 圭子 氏**

新潟大学 危機管理本部 危機管理センター教授。平成16年3月京都大学・博士(情報学)。専門は危機管理・災害福祉。内閣府「防災スペシャリスト養成企画検討会」座長、新潟県「水防協議会」委員などを務める。